

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 石井食品株式会社

コード番号 2894 URL <http://www.ishiifood.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 浅井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務戦略部総括MGR (氏名) 植草 豊彦

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 047-459-9061

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,350	△10.7	61	—	55	—	△10	—
21年3月期第2四半期	5,992	—	△36	—	△8	—	△34	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△0.59	—
21年3月期第2四半期	△1.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	11,136	6,885	61.8	374.98
21年3月期	11,347	6,980	61.5	380.14

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,885百万円 21年3月期 6,980百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	6.00	6.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	△0.9	300	4.6	330	4.6	160	8.6	8.71

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 18,392,000株 21年3月期 18,392,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 28,835株 21年3月期 27,941株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 18,363,760株 21年3月期第2四半期 18,365,730株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、提出日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実績の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、景気の底入れ感を背景に株価は緩やかな回復基調にあるものの、雇用状態や所得環境の悪化などによる消費の低迷、個人消費者の節約志向の高まりによる小売業界の廉価販売の拡大など、非常に厳しいものとなっております。

一方これらの環境の中で、お客様は物の豊かさから心の豊かさ、より安全な商品などの価値を厳しく求めるようになってまいりました。

当社グループの取り組みとしましては原材料の鮮度及び産地を中心に、原材料履歴情報、残留農薬検査内容の開示をお客様からの目線で考え、お客様に満足していただける商品作りを行いたいと考えております。また、原材料の鮮度をより一層高めるため生産者のご協力をいただき、原材料の素材本来の持つおいしさを提供できるような取り組みを積極的に実施してまいりました。

このような活動を行ってまいりましたが、当社が進める安心、安全、おいしさの追求、情報開示、告知などが限定的なものとなり、売上高53億50百万円（前年同期比6億41百万円減）となりました。

一方、従来より進めております付加価値生産性を基軸としたロス、ムダの削減、経費予算管理などの厳格化により販売費及び一般管理費等の削減を行いました結果、営業利益は61百万円（前年同期比98百万円増）となりました。これにより、経常利益は55百万円（前年同期比63百万円増）となり、これに法人税等充当額の処理を行った結果、当四半期純損失は10百万円（前年は純損失34百万円）を計上することとなりました。

製品別売上高

(単位:千円未満切り捨て)

期 別 製 品 別	前第2四半期連結累計期間 (20.4.1~20.9.30)		当第2四半期連結累計期間 (21.4.1~21.9.30)		前年同期比	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増減額	増減率
		%		%		%
食肉加工品	5,527,278	90.0	4,987,617	89.8	△ 539,661	△ 9.8
冷凍食品	43,594	0.7	32,861	0.6	△ 10,733	△ 24.6
中華調味料	80,798	1.3	52,243	0.9	△ 28,555	△ 35.3
そ う 菜	305,396	5.0	304,761	5.5	△ 634	△ 0.2
そ の 他	182,137	3.0	174,717	3.2	△ 7,419	△ 4.1
合 計	6,139,205	100.0	5,552,201	100.0	△ 587,003	△ 9.6

(注)上記は売上割戻控除前の金額であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における資産総額は前連結会計年度末に比べ、2億10百万円減の111億36百万円となりました。また、負債総額は前連結会計年度末に比べ1億15百万円減の42億50百万円、純資産は前連結会計年度末に比べ、95百万円減の68億85百万円となり、この結果、自己資本比率は61.8%となりました。

営業活動によるキャッシュフローは94百万円の増加となりました。主な要因としては、減価償却費の計上によるものです。

投資活動によるキャッシュフローは3億92百万円の減少となりました。主な要因としては、長期性預金への預け入れによるものです。

財務活動によるキャッシュフローは1億44百万円の減少となりました。主な要因としては、配当金の支払いと借入金の返済によるものです。

これらにより、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末に対し4億41百万円減の32億77百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期業績結果は、平成21年5月8日に開示いたしました当期業績予想に対し、売上高はやや計画を下回ることとなりますが、従来より進めております付加価値生産性を基軸としたロス、ムダの削減、経費予算管理などの厳格化により販売費及び一般管理費等の削減を図ることができました。

その結果、営業利益、経常利益ともに前回予想を上回ることとなりました。

今後もロス、ムダの削減、経費予算の管理を進めることにより通期での業績は当初予想通りと考えております。

今後の活動といたしましては生産工場における原材料在庫の削減をより一層進め、製品作りにおいて鮮度管理に重点を置いた仕組みや、使用している原材料の産地をより詳細に開示するなどお客様のより一層のご信頼が得られるように活動していく所存でございます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,027,101	4,421,837
受取手形及び売掛金	1,475,129	1,345,549
商品及び製品	34,366	30,661
仕掛品	39,974	32,082
原材料及び貯蔵品	173,256	212,540
その他	103,174	90,992
貸倒引当金	△1,500	△1,344
流動資産合計	5,851,502	6,132,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,899,264	1,998,808
機械装置及び運搬具(純額)	1,301,512	1,444,004
土地	1,143,099	1,143,099
工具、器具及び備品(純額)	39,774	47,670
有形固定資産合計	4,383,651	4,633,583
無形固定資産	55,569	56,390
投資その他の資産	845,661	524,844
固定資産合計	5,284,882	5,214,818
資産合計	11,136,385	11,347,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	321,719	304,957
短期借入金	2,130,000	2,130,000
1年内返済予定の長期借入金	67,560	67,560
未払法人税等	59,254	166,806
賞与引当金	81,696	80,676
未払費用	527,622	505,198
その他	76,660	97,053
流動負債合計	3,264,512	3,352,251
固定負債		
長期借入金	230,110	263,890
退職給付引当金	578,309	545,141
長期末払金	177,644	204,989
固定負債合計	986,064	1,014,020
負債合計	4,250,577	4,366,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	5,310,285	5,431,339
自己株式	△7,227	△7,025
株主資本合計	6,895,459	7,016,715
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,651	△35,851
評価・換算差額等合計	△9,651	△35,851
純資産合計	6,885,808	6,980,864
負債純資産合計	11,136,385	11,347,137

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,992,422	5,350,668
売上原価	3,725,698	3,257,188
売上総利益	2,266,723	2,093,480
販売費及び一般管理費		
給料	371,915	362,936
販売手数料	156,540	142,088
運搬費	686,858	598,655
販売促進費	251,125	154,089
その他	836,550	773,829
販売費及び一般管理費合計	2,302,990	2,031,599
営業利益又は営業損失(△)	△36,266	61,880
営業外収益		
受取利息	3,845	4,470
受取配当金	5,793	5,428
雑収入	8,972	2,780
その他	31,705	11,777
営業外収益合計	50,316	24,457
営業外費用		
支払利息	21,304	18,667
たな卸資産廃棄損	—	9,856
その他	903	2,539
営業外費用合計	22,207	31,063
経常利益又は経常損失(△)	△8,157	55,274
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,986	—
投資有価証券売却益	256	243
特別利益合計	2,243	243
特別損失		
投資有価証券評価損	707	5,979
固定資産処分損	215	7,824
特別損失合計	923	13,803
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,838	41,714
法人税等	28,115	52,583
四半期純損失(△)	△34,953	△10,869

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△6,838	41,714
減価償却費	355,857	293,430
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,570	1,020
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,637	33,167
長期未払金の増減額(△は減少)	△6,189	△27,344
受取利息及び受取配当金	△9,638	△9,898
支払利息	21,304	18,667
固定資産除却損	—	7,824
売上債権の増減額(△は増加)	△220,447	△129,579
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,119	27,686
仕入債務の増減額(△は減少)	66,996	16,761
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△722	△1,066
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,229	△28,740
その他	45,825	17,214
小計	237,190	260,856
利息及び配当金の受取額	9,619	10,795
利息の支払額	△21,024	△17,621
法人税等の支払額	△41,411	△159,069
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,374	94,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	603,000
定期預金の預入による支出	—	△953,000
有形固定資産の取得による支出	△32,115	△40,732
投資有価証券の取得による支出	△1,127	△1,154
その他	1,487	△642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,755	△392,530
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△33,780	△33,780
自己株式の取得による支出	△287	△202
配当金の支払額	△101,014	△110,184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,081	△144,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,568	△441,735
現金及び現金同等物の期首残高	2,905,304	3,718,837
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,922,873	3,277,101

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。